

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	老朽化化学兵器の廃棄処理に必要な経費		担当部局	港湾局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H17～		担当課室	計画課		課長 松原 裕		
会計区分	一般会計		施策名	20 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	内閣官房の調整により、平成17年度から苅田港における老朽化化学兵器の無害化処理を国土交通省によって実施している。苅田港において4,403発の化学兵器が海洋投棄されたという文献記録があり、22年度までに計2,953発(平成17年度以前の防衛庁実施分を含む)が発見・処理されている。港内の安全を確保するため、老朽化化学兵器の探査及び処理業務等を行うものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	苅田港で発見されている老朽化化学兵器は致死性の毒ガスを含む危険な化学兵器であり、人体への悪影響を防止し、港の安全を確保するために、同港にて発見された化学兵器を無害化処理する。 無害化処理フロー： 1. 磁気探査、2. 現し作業、3. 揚収、4. 陸揚げ・輸送、5. 検査・識別、6. 爆破処理							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	7,401	6,675	0	1,127	1,127	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	-1,446	-631	3,473	0		
	計	5,954	6,044	3,473	1,127	1,127		
	執行額	5,954	6,012	3,465				
執行率(%)	100.0%	99.5%	99.8%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(24年度)	
	成果実績							
	達成度							
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	事業実施港数		活動実績(当初見込み)	港	1	1	0	1
単位当たりコスト	-		算出根拠	平成22年度の当初予算計上はなし。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	廃棄処理に必要な経費	1,127	1,127					
	計	1,127						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地域限定的な事業であるため、広く国民のニーズがあるとまでは言えないものの、旧軍由来の老朽化化学兵器の処理事業であることから、優先度は高いといえる。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>地方整備局においては、処理業務の発注や現場監督業務を行い、作業の進捗状況や予算の執行状況を常に把握している。本省においても、地方整備局からの報告を以て事業の進捗状況を把握しており、適正に事業が遂行されているといえる。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 磁気探査や現し作業について、ダイバーの教育による能力の向上を図っている。 また、当該港湾の安全に対する地元住民の要望を踏まえ、磁気探査や現し作業の結果に応じて探査範囲等の見直しについて検討することとしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		当該港湾の安全に対する地元住民の要望を踏まえ、適宜探査範囲の妥当性について検討を行いつつ、事業の実施に努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
地元住民の要望を踏まえ、適宜探査範囲の妥当性について検討を行いつつ、事業実施の効率化に努める。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土交通省
3,465百万円

老朽化化学弾の無害化処理業務を行わせる。



A.九州地方整備局
3,465百万円

老朽化化学兵器廃棄処理
業務旅費

老朽化化学弾の無害化処理業務を実施。



【一般競争・随意契約】

B.民間事業者等(8社)
3,465百万円

事業設計、現し作業、無害化処理業務、監督補助業務等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.九州地方整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	老朽化学兵器の廃棄処理に必要な経費	3,465			
計		3,465	計		0
B.神戸製鋼株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	芦田港老朽化学兵器無害化处理業務(第2次)	3,252			
計		3,252	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.地方整備局(1機関)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	九州地方整備局	老朽化化学兵器の廃棄処理に必要な経費	3,465	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.民間事業者等(8社)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)神戸製鋼所	苅田港老朽化化学兵器無害化処理業務(第2次)	3,252	1	99.97
2	若築建設(株)	苅田港老朽化化学兵器現し工事	118	6	84.6
3	豊前海区漁業協同組合 会長	苅田港老朽化化学兵器処理の施行に伴う漁業補償金	47	-	-
4	(財)港湾空港建設技術サ -ビスセンター-	苅田港港湾整備に伴う施工検討業務等	17	-	-
5	(株)ティーネットジャパン	苅田港(化学弾処理)監督等補助業務	15	2	81.0
6	日本海洋コンサルタント (株)	苅田港老朽化化学兵器無害化処理施設(基礎)基本設計	9	6	78.3
7	苅田町漁業協同組合	苅田港老朽化化学兵器処理の施行に伴う漁業補償金	7	-	-
8	(株)フジモト	ドラムカートリッジ等購入	0	3	-
9					
10					